

仕様書

1 業務名

令和8年度 クルーズ船社 FAM ツアー実施業務

2 業務目的

クルーズ船のさらなる寄港に繋げるため、他港と連携して、船社等を対象とした FAM ツアーを実施する。本ツアーでは、北九州港や地域の観光コンテンツ等を視察してもらうことで、寄港地としての魅力を伝え、選定してもらうことを目的とする。

3 発注者

北九州市港湾空港局クルーズ・交流課（門司区西海岸一丁目2番7号）

4 契約期間

契約締結日から令和9年1月29日（金）まで

5 業務内容

本業務では、以下の2件の FAM ツアーを実施する。

（1）ツアー概要

ア ハパグロイド・クルーズ FAM ツアー

- ・時期：令和8年11月22日（日）～12月2日（水）の期間内で2泊3日
※具体的な日程は、発注者と別途協議の上で決定する。
- ・人数：最大3名（船会社2名、ランドオペレーター最大1名）
※ランドオペレーターの参加可否および人数は、発注者の指示または協議により決定する。
- ・対象：クルーズ船会社および旅行会社（ランドオペレーター）

イ クリスタル・クルーズ FAM ツアー

- ・時期：令和8年12月11日（金）～12月13日（日）（2泊3日）
- ・人数：合計2名（船会社1名、ランドオペレーター1名）
- ・対象：クルーズ船会社および旅行会社（ランドオペレーター）

（2）具体的実施内容

ア 企画および提案

- ・発注者が提示するクルーズ船会社分析に基づき、受注者は船会社のニーズを的確に反映したテーマを設定し、そのテーマに沿ったツアーを提案し、船会社に北九州市の観光コンテンツ（体験型を含む）を体験してもらう。
- ・テーマの設定および視察先の選定に際して、発注者と2回協議を行うこと。

イ 連絡および調整

- ・全行程に関する関係者との連絡・調整を行うこと。

ウ 手配および支払

- ・車両（８名以上が乗車可能）、宿泊施設、食事、視察先入館料等の手配および支払いを行うこと。手配にあたっては以下の点に留意すること。

①宿泊施設の手配

- ・被招聘者の属性および役職に相応しい、格式の高い宿泊施設（シティホテル等）を選定すること。いわゆるビジネスホテルは不可とする。
- ・原則として朝食付きの宿泊プランを手配すること。

②食事の手配

- ・各ツアーにおいて、以下の計７食（宿泊に含む朝食を除く５食）を手配すること。
 - １日目：昼食、夕食
 - ２日目：朝食（宿泊に含む）、昼食、夕食
 - ３日目：朝食（宿泊に含む）、昼食
- ・１日目の夕食については、本市港湾空港局長を含めた食事会（意見交換会）として、それに相応しい会場（ホテル内レストランまたは市内の高級飲食店等）およびメニューを選定すること。
- ・昼食および夕食については、被招聘者のほか、通訳を含み同行者最大４名分の費用を含めること。

③移動経費の手配

- ・各ツアーにおける、本市視察後またはツアー終了に伴う移動経費の手配および支払いを行うこと。
 - ハバグロイド・クルーズ：本市から次港（広島港）への移動
 - クリスタル・クルーズ：本市から帰国のための中継地（羽田空港）への移動

（３）委託料の精算

本業務の完了にあたっては、以下の項目について実績に基づき減額精算を行うものとする。

ア 共通経費

- ・参加者の国際航空券代等の共通経費（２件分合計で 500,000 円を上限とする）については、他港との共同実施に伴う負担分として、幹事都市が別途指定する事業者等に対し、受注者が支払うものとする。なお、当該経費の実績額が上限に満たない場合は、その差額を減額精算すること。

イ 人数変更に伴う実費（招聘者・同行者）

- ・ランドオペレーター等の不参加により招聘者の人数が減少した場合の宿泊費、食事代、施設入館料等の実費相当額。
- ・食事（昼食・夕食）における同行者が４名に満たなかった場合の差額分。

ウ 通訳経費

- ・各ツアーに英語が堪能なガイドを同行させることとするが、発注者の国際交流員等の派遣が可能となり、受注者側での通訳配置が不要となった場合の当該経費。

エ その他

- ・上記の他、予定していたが不要となった経費。

6 成果物

業務完了報告書（履行期間満了日まで）

7 委託料の支払い

- （１）業務が全て完了した後、速やかに業務完了報告書等を提出すること。
- （２）受注者は、発注者が業務の履行を全て完了したことの確認を受けた後に、発注者の指定する方法により、委託料を請求するものとする。
- （３）発注者は、受注者から委託料の請求があったときは、適法な支払請求書を受理した日から起算して 30 日以内に受注者に支払うものとする。

8 その他

- （１）業務の実施にあたっては、発注者と十分協議した上で行うこと。
- （２）業務上作成した成果物に関する所有権や著作権は、原則として全て発注者に帰属する。
- （３）業務上知り得た個人情報は、事業の実施・運営上必要な範囲内で使用することとし、他の目的へは決して用いないこと。また、個人情報は厳重に管理し、万が一、外部に流出する等の事故が発生したとき、又は流出する恐れのある場合は、受注者の責任において対処すること。
- （４）本仕様書に明示なき事項、または業務上疑義が発生した場合は、発注者・受注者両者協議の上、決定すること。

クルーズ船会社分析

ハパグロイド・クルーズの特徴

【共通の特徴】

- ・乗客のメインターゲットがドイツの方々であり、アメリカ圏に比べると、高齢者でも比較的元気な方が多い。
- ・船内も基本はドイツ語がメイン。最近は英語を少しずつ取り入れている。
- ・寄港地でのツアー代金はクルーズ料金に含まれておらず、オプションツアー。
- ・日本でのツアーは言語との兼ね合いもあり、6～7割はツアーに参加。

【保有クルーズ船別の特徴】

●オイローパ

- ・船旅を楽しむ乗客が多く、比較的穏やかで静かな雰囲気。
- ・年齢層が少し高い。

●オイローパ2

- ・オイローパと比べると、若めの年齢層。
- ・船内での食事や寄港地ツアー内容もオイローパと比べると若い乗客にあった仕様。
- ・船内にゴルフや自転車の専門家が乗船しており、各地でそのツアーを楽しむ方もいる。

●ハンセンアティック・ネイチャー

●ハンセンアティック・インスピレーション

●ハンセンアティック・スピリット

- ・エクスペディション船のため、自然を好む傾向にある。
- ・日本では、陸路での移動が困難な港に寄港するため、ツアーガイドは乗客と一緒に乗船して移動している。

クリスタル・クルーズの特徴

【共通の特徴】

（１）乗客の属性や年齢層

- ・主に 55 歳から 75 歳のアメリカ人ゲストで、多様な関心を持つ経験豊富な旅行者。

（２）クルーズ代金に寄港地ツアーが含まれているか。

- ・クルーズ代金に寄港地ツアーは含まれておらず、オプションツアー。

（３）ツアーの概算費用

- ・日本でのツアーの平均価格は 200 米ドル。アクティビティの内容、所要時間、含まれるサービスなどによって異なる。

（４）ツアーの参加人数

- ・アクティビティにもよるが、一般的には、参加者不足によるツアー中止のリスクを避け、確実にツアーが催行できるよう、最小催行人数は少なめの設定。

- ・最大人数はアクティビティや訪問先によるが、通常は 20 名以下のグループが望ましく、現地の受け入れ状況によっては、最大 30 名まで対応可能。

（５）寄港地観光ツアーの目的地や内容について

- ・多様な体験を組み合わせたプログラムを好む。
- ・日本では、人気のある文化や歴史に加え、自然、野生生物、食、アドベンチャー、ウェルネスといった要素も取り入れる。
- ・基本的には 4～8 時間のツアー（主要スポット巡りや、学び・体験型のツアー）を提供するが、身体の不自由なゲスト向けに、下車や徒歩移動を伴わず、車窓から景色を楽しむだけのツアーも必ず 1 つは組み込む。

【保有クルーズ船別の特徴】

●クリスタル・シンフォニー

上記共通の特徴のとおり。